

第5章 火災による死傷者の状況

1 火災による死者

- 火災による死者は94人で、前年と比べて8人増加。

(1) 発生状況

ここでとりあげる「火災による死者」とは、火災に起因して死亡した者をいい、「自損行為」とは、放火による自損行為のことをいいます。

火災による死者の年別発生状況をみたものが表5-1-1、年齢区分別と火災種別、男女別の死者発生状況をみたものが表5-1-2、月別火災件数と自損行為を除いた死者の発生状況をみたものが表5-1-3です。

表5-1-1 年別発生状況（最近10年間）

年 別	全 火 災 件 数	火 死 者 災 の 発 生 し 数 た	死 者 発 生 率 (%)	死 者 数 合 計	の 自 損 死 行 為 者 以 外	年 齢 区 分					
						5 歳 以 下	6 歳 以 上	20 歳 以 下	65 歳 以 上	75 歳 以 上	不 明
27年	4,430	87	2.0	95(16)	79	2(-)	-(-)	34(10)	24(3)	35(3)	-(-)
28年	3,980	77	1.9	83(15)	68	1(-)	-(-)	28(9)	28(6)	24(-)	2(-)
29年	4,204	76	1.8	79(14)	65	-(-)	1(-)	27(8)	20(5)	30(-)	1(1)
30年	3,972	79	2.0	86(12)	74	-(-)	-(-)	24(3)	30(6)	32(3)	-(-)
元年	4,085	95	2.3	108(17)	91	1(-)	-(-)	42(8)	29(3)	36(6)	-(-)
2年	3,693	80	2.2	86(10)	76	-(-)	-(-)	27(8)	17(1)	42(1)	-(-)
3年	3,935	78	2.0	86(14)	72	-(-)	-(-)	26(10)	17(1)	43(3)	-(-)
4年	3,952	78	2.0	89(14)	75	-(-)	1(1)	26(5)	23(1)	38(6)	1(1)
5年	4,329	82	1.9	86(15)	71	-(-)	-(-)	28(6)	19(6)	39(3)	-(-)
6年	4,517	84	1.9	94(5)	89	1(-)	1(-)	28(4)	17(1)	47(-)	-(-)

注1 火災件数は、治外法権火災及び管外からの延焼火災を除いています。以下同じ。

2 ()は「自損行為による死者」数を内数で示したものです。

3 死者発生率とは、死者の発生した火災件数が全火災件数に占める割合です。

- 死者発生状況をみると、死者の発生した火災は84件（前年比2件増加）、死者は94人発生（前年比8人増加）。
- 死者発生率をみると、全火災件数の1.9%発生。

表 5-1-2 年齢区分と火災種別、男女別死者発生状況

死 者 の 年 齢 区 分		火 灾 種 别							男 女 别	
		合 计	建 物 火 灾				車 両	そ の 他	男	女
			小 计	全 焼	半 焼	部 分 焼				
火 灾 件 数		84	81	24	8	38	11	1	2	
死 者 数	合 計	94	91	28	10	42	11	1	2	55 39
	自 損 行 為 以 外	89	88	27	9	42	10	-	1	51 38
	5 歳 以 下	1	1	-	-	1	-	-	-	1 -
	6 - 19 歳	1	1	-	-	1	-	-	-	1
	20 - 64 歳	24	24	5	-	12	7	-	-	15 9
	65 - 74 歳	16	16	7	2	7	-	-	-	9 7
75 歳 以 上		47	46	15	7	21	3	-	1	26 21
自 損 行 為 に よ る 死 者		5	3	1	1	-	1	1	1	4 1

表 5-1-3 月別火災件数と死者発生状況

項 目		月 合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
火 灾 件 数		4,517	420	412	385	343	365	312	361	304	319	354	430	512
死 者 数	合 計	89	15	6	7	3	14	-	8	2	2	2	13	17
	高 齢 者 以 外	26	2	1	2	-	7	-	3	2	-	-	2	7
	高 齢 者	63	13	5	5	3	7	-	5	-	2	2	11	10
高 齢 者 の 占 め る 割 合 (%)		70.8	86.7	83.3	71.4	100.0	50.0	-	62.5	-	100.0	100.0	84.6	58.8

注1 死者数は、自損行為による死者を除いています。

2 1月から3月及び12月を合わせた期間を「火災多発期」といいます。

- 男女別に死者発生状況をみると、男性が55人(58.5%)、女性が39人(41.5%)発生。
- 年齢区分別に死者発生状況をみると、自損行為を除く高齢者の死者は63人(70.8%)で、自損行為を除く死者数の7割以上を占める。
- 火災種別ごとの自損行為を除く死者発生状況をみると、88人が建物火災で発生。
- 建物火災による死者のうち、部分焼以上に延焼拡大した火災による死者は78人(88.6%)発生。
- 月別火災件数と死者発生状況をみると、火災多発期の火災件数は1,729件(38.3%)で、自損行為を除く死者数は45人(50.6%)となっており、5割以上を占める。

(2) 出火原因別発生状況

発火源別の経過・火災種別ごとに発生した死者数をみたものが表5-1-4、年齢区分と発火源別に死者発生状況をみたものが表5-1-5です。

表 5-1-4 発火源別の経過・火災種別死者発生状況

発 火 源	合 計	経							その 他 ・ 不 明	火 災 種 別					そ の 他	
		火 源 が 落 下 す る	可 燃 物 が 接 触 す る	電 線 が 短 絡 す る	不 適 当 な 処 に 捨 て る	放 火 (疑 い 含 む)	ト ラ ッ キ ン グ	引 火 す る		建 小 全 半 部 ぼ	火 災 種 別	物 分 焼 焼 焼 や	そ の 他	そ の 他		
合	計	89	16	10	10	6	4	3	3	37	88	27	9	42	10	1
た	ば	こ	19	13	-	-	6	-	-	-	19	2	-	12	5	-
電 気 設 備	小 計	20	-	5	10	-	-	3	-	2	20	8	5	7	-	-
	電気ストーブ	4	-	3	-	-	-	-	-	1	4	1	-	3	-	-
	コード	3	-	-	3	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-
	屋内線	2	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
	電気ポット	2	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	2	-	-	-
	コンセント	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
	コンピュータ(本体)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	ハロゲンヒータ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	ハロゲンランプ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	マルチタップ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-
機 器	電気こんろ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	電気蚊取器	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	電気座布団	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	白熱灯スタンド	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	小 計	5	-	3	-	-	-	-	1	1	5	-	-	5	-	-
機 ガ ス 設 器 備	簡易型ガスこんろ	4	-	2	-	-	-	-	1	1	4	-	-	4	-	-
	ガステーブル	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	石油ストーブ	5	-	1	-	-	-	-	2	2	5	2	1	2	-	-
	ライタ一	4	-	-	-	-	2	-	-	2	4	-	-	4	-	-
練炭七論こんろ	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	1	2	-
線	香	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-
炭	火	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-
蚊	取	線	香	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
焼	却	火	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
灯	明	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
不	明	27	-	-	-	-	-	2	-	-	25	27	15	2	9	1

注 自損行為による死者を除いています。

表 5-1-5 年齢区分と発火源別死者発生数

発 火 源	合 計	年 齢 区 分					
		5歳以下	6-19歳	20-64歳	65-74歳	75歳以上	
合 計	89	1	1	24	16	47	
た ば こ	19	-	-	7	5	7	
電 気 設 備 機 器	小 計	20	-	-	1	2	17
	電気ストーブ	4	-	-	1	1	2
	コ ー ド	3	-	-	-	-	3
	屋 内 線	2	-	-	-	-	2
	電 気 ポ ッ ト	2	-	-	-	-	2
	コンセント	1	-	-	-	-	1
	コンピュータ(本体)	1	-	-	-	-	1
	ハロゲンヒータ	1	-	-	-	-	1
	ハロゲンランプ	1	-	-	-	-	1
	マルチタップ	1	-	-	-	-	1
	電 気 こん ろ	1	-	-	-	-	1
	電 気 蚊 取 器	1	-	-	-	-	1
機 ガ ス 設 備	電 気 座 布 団	1	-	-	-	-	1
	白熱灯スタンド	1	-	-	-	1	-
	小 計	5	-	-	2	-	3
機 ガ ス 設 備	簡易型ガスこんろ	4	-	-	1	-	3
	ガステーブル	1	-	-	1	-	-
	石油ストーブ	5	-	-	-	1	4
ライタ一	4	1	1	-	-	1	1
練炭七論こんろ	3	-	-	3	-	-	-
線香	2	-	-	1	-	-	1
炭火	1	-	-	1	-	-	-
蚊取線香	1	-	-	-	-	1	-
焼却火	1	-	-	-	-	-	1
灯明	1	-	-	-	-	-	1
不明	27	-	-	9	6	12	

注 自損行為による死者を除いています。

- 発火源別でみると、電気設備機器が 20 人 (22.5%) 、たばこが 19 人 (21.3%) 、ガス設備機器が 5 人 (5.6%) など発生。
- 電気設備機器による火災の死者は、電気ストーブが 4 人 (20.0%) で最多、年齢区分別でみると高齢者が 3 人 (15.0%) で最多。
- 発火源別の経過をみると、たばこによる火災は「火源が落下する」で 13 人 (68.4%) 、「不適当な処に捨てる」で 6 人 (31.6%) 発生。年齢区分別でみると、たばこによる火災の死者は高齢者が 12 人 (63.2%) 発生。

2 火災による負傷者

- 火災による負傷者は、794人で前年と比べて44人増加。

(1) 発生状況

ここでとりあげる「火災による負傷者」とは、火災に起因して負傷した人をいいます。

ア 発生状況

火災による負傷者の年別発生状況をみたものが表5-2-1です。

表 5-2-1 年別発生状況（最近10年間）

年 別	全 火 災 件 数	火 災 件 数 の 発 生 し た 数	負 傷 者 発 生 率 (%)	負 傷 者 数 合 計	負 傷 者 区 分			
					一 般 人			消防活動 従事者
					小 計	自損行為 以 外	自損行為	
27年	4,430	602	13.6	827(4)	815(4)	804(4)	11(-)	12
28年	3,980	604	15.2	853(8)	842(8)	831(7)	11(1)	11
29年	4,204	569	13.5	758(9)	750(9)	734(7)	16(2)	8
30年	3,972	530	13.3	798(19)	787(19)	775(18)	12(1)	11
元年	4,085	540	13.2	705(9)	700(9)	687(7)	13(2)	5
2年	3,693	561	15.2	710(3)	705(3)	690(3)	15(-)	5
3年	3,935	528	13.4	664(4)	658(4)	647(4)	11(-)	6
4年	3,952	568	14.4	742(2)	734(4)	718(2)	16(2)	8
5年	4,329	581	13.4	750(1)	732(1)	725(1)	7(-)	18
6年	4,517	584	12.9	794(3)	786(3)	776(2)	10(1)	8

注1 消防活動従事者とは、消防職員、消防団員などの消防活動等に従事した者の区分です。

2 ()内は、30日死者(火災による負傷者のうちで、48時間を超え30日以内に死亡した人)を内数で示したものですが(「30日死者」の項を参照)。

3 負傷者発生率とは、負傷者の発生した火災件数が全火災件数に占める割合です。

- 負傷者が発生した火災は584件(前年比3件増加)で、794人(同44人増加)が負傷。そのうち一般人の負傷者は786人(同54人増加)発生。

イ 火災種別・年齢区分と受傷程度の状況

火災種別と年齢区分別に受傷程度をみたものが表 5-2-2、3人以上の負傷者が発生した火災状況をみたものが表 5-2-3 です。

表 5-2-2 火災種別・年齢区分別受傷程度状況

受 傷 程 度	負 傷 者 数 合 計	火 災 種 別						年 齢 区 分						
		建 物					車	船	そ の 他	5 歳 以 下	6 歳 以 下	20 歳 以 上		
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や				19 歳	64 歳	74 歳	75 歳 以 上	
合 計	776	712	43	38	214	417	22	16	26	12	505	64	66	129
重 篤	20	17	3	1	10	3	-	1	2	-	13	-	2	5
重 症	92	82	8	7	42	25	5	1	4	-	51	7	14	20
中 等 症	172	164	14	8	49	93	1	3	4	2	112	8	15	35
軽 症	492	449	18	22	113	296	16	11	16	10	329	49	35	69

注 消防活動従事者（8人）及び自損行為による負傷者（10人）を除いた人数です。

表 5-2-3 3人以上の負傷者が発生した火災状況（最近 10 年間）

年 別	火 災 生 じ 者 数 た の 数	火 災 生 じ 者 数 た 上 が 数	負 傷 者 数 合 計 (3 人 以 上)
27年	602	48	193
28年	604	46	205
29年	569	34	137
30年	530	46	237
元年	540	31	113
2年	561	32	113
3年	528	27	92
4年	568	40	141
5年	581	32	119
6年	584	36	173

注 消防活動従事者（8人）及び自損行為による負傷者（10人）を除いた人数です。

- 火災種別ごとに負傷者の発生数をみると、建物火災の部分焼以上の火災で負傷者が 295 人（41.4%）発生し、建物火災の4割以上を占める。
- 受傷程度別でみると、軽症が 492 人（63.4%）と最多。
- 火災による負傷者を年齢区分でみると、高齢者は 195 人（25.1%）で、そのうち後期高齢者が 129 人（66.2%）発生。

(2) 出火原因別発生状況

ア 出火原因別受傷時の状態

主な出火原因別及び負傷者の男女別で受傷時の状態をみたものが表 5-2-4 です。

表 5-2-4 主な出火原因別受傷時の状態

受 傷 時 の 状 態	合 計	主 な 出 火 原 因										男 女 別		
		ガ ス テ ー ブ ル 等	た ば こ	大 型 ガ ス こ ん ろ	放 火 (疑 い 含 む)	電 気 ス ト ー ブ	コ ー ド	石 油 ス ト ー ブ 等	ラ イ タ ー	ロ ウ ソ ク	大 型 ガ ス レ ン ジ	そ の 他	男	女
合 計	776	125	44	38	33	28	16	15	15	14	13	435	467	309
初期消火中	185	38	8	15	7	8	2	3	3	5	3	93	134	51
作業中	144	10	1	16	-	1	1	1	4	2	5	103	100	44
避難中	99	4	5	4	8	3	5	7	-	-	4	59	48	51
家事従業中	73	44	-	-	-	2	1	2	-	1	-	23	23	50
就寝中	58	5	11	-	2	6	2	-	-	1	-	31	37	21
休憩・休憩中	55	8	10	-	1	1	-	1	2	3	-	29	36	19
飲食中	16	4	-	-	-	1	1	-	1	1	-	8	11	5
火遊び中	7	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	5	5	2
見物中	6	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	2	4
自損を図った	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	3
救助中	4	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2	2	2
消防隊に協力中	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1
火災通報中	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
採暖中	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
その他・不明	116	10	7	2	13	5	3	1	5	1	1	68	63	53

注 消防活動従事者（8人）及び自損行為による負傷者（10人）を除いた人数です。

- 出火原因別の上位3位をみると、ガステーブル等が125人（16.1%）で最多。次いでたばこが44人（5.7%）、大型ガスこんろが38人（4.9%）発生。
- 受傷時の状態別でみると、ガステーブル等では家事従事中に負傷したものが44人（35.2%）で最多。次いで初期消火中が38人（30.4%）で、この2つでガステーブル等で受傷した6割以上（65.6%）を占める。
- 男女別では、男性が467人（60.2%）、女性が309人（39.8%）と男性の受傷割合が高い。受傷時の状態をみると、男性は初期消火中、女性は初期消火中及び避難中の受傷人数が最多。

イ 受傷の理由

受傷の理由をみたものが図 5-2-1 です。

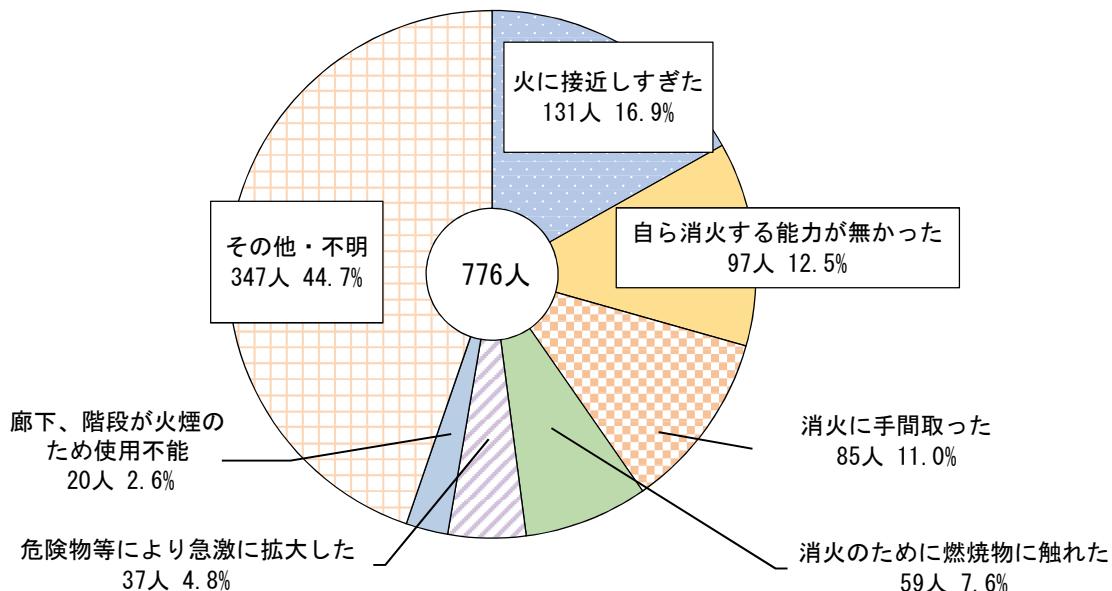


図 5-2-1 受傷の理由

注 「自ら消火する能力がなかった」とは、出火時に家事従事中（調理中など）で着衣着火などにより受傷したものです。

- 受傷の理由をみると、「火に接近しすぎた」が 131 人（16.9%）で最多、次いで「自ら消火する能力がなかった」が 97 人（12.5%）発生。

(3) 30 日死者

30 日死者とは、火災による負傷者のうちで、48 時間を超えて 30 日以内に死亡した人のことをいい、年齢区分状況をみたものが表 5-2-5 です。

表 5-2-5 30 日死者の年齢区分状況

受 傷 程 度	合 計	年 齢 区 分				
		5 歳 以 下	6 歳	20 歳	65 歳	75 歳 以 上
重 篤	2	-	-	1	1	-

- 令和 6 年中の 30 日死者は 2 人で、前年よりも 1 人増加。